

企画セッション 90分

# 「放射線防護に関する国際動向と 日本の専門家としての向き合い方」

放射線防護に関する国際的な機関・組織の個性を整理したうえで、最近の動向をさまざまな観点から俯瞰し、日本の専門家としてその動向をどのように捉え、どのように行動し、国内にとどまらず、国際的な視点で知識や経験を向上させ、さらにはその知見を水平展開して有効に活用、貢献していくかについて意見交換することを目的としている。

企画セッション 90分（9時半－11時）

# 「放射線防護に関する国際動向と 日本の専門家としての向き合い方」

座長：飯本（東大）

企画セッションの背景と趣旨

飯本武志（東大）

講演1：規制当局による情報収集と対応の戦略

荻野晴之（規制庁）

講演2：専門家チームの対応と今後の展望

保田浩志（広大）

指定者発言

ICRP

藤田博喜（ICRP事務局・原子力機構）

IAEA-RASSC

高田千恵（原子力機構）

国際対応委員会

佐々木道也（電中研）

標準化委員会

橋本 周（原子力機構）

パネル討論と情報の共有

パネラー：講演者及び指定発言者

※本セッションの内容に関するご質問、ご意見は  
日本保健物理学会事務局までお寄せください。